

新ビジネス創出

NTT東日本グループ会社のソリューション群

NTTテレコンのLPWA端末「グッとびくん・W」

NTTテレコンは水道検針特化型のLPWA端末「グッとびくん・W」の普及拡大に注力している。防水性に優れたLPWA端末により豪雪地帯や中山間地域の自動検針・集中監視を実現するスマートサービスとして自治体などに訴求。同社は「水道検針本格普及の元年」と位置づけ、水道DX市場を開拓する。

NTT東日本グループ和信担当部長は「水道検針を劇的に効率化し、水道メーター直結するソリューション。自治体などに訴求するLPWA端末。水道メーターを回り、グッとびくん・Wを開拓していきたい」と話す。

水道検針員は慢性的な人手不足。水道は自治体の運用

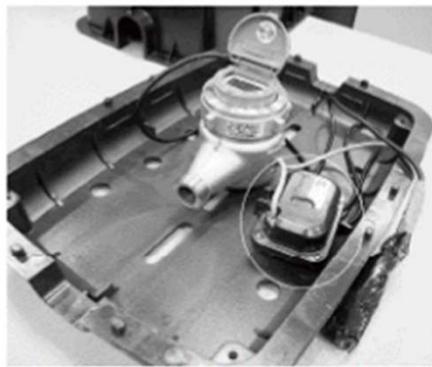


和田氏

「水道検針を劇的に効率化し、水道メーター直結するソリューション。自治体などに訴求するLPWA端末。水道メーターを回り、グッとびくん・Wを開拓していきたい」と話す。

豪雪地帯では埋設された水道ボックスに格納されている。埋設型の水道ボックスは雪や雨の影響を受けやすい。従来型の通信端末は本設する恐れのある埋設型の水道ボックスに実装するのが難しかった。

豪雪地帯では水道メーター特化型の端末が、完全閉鎖の防水性に優れている。また小型化したことで水道ボックスに格納しやすく、水道メーターに直接装着できる形状になっている。これにより水道検針の利便性を高めた。田氏は説明する。



水道ボックスに実装された「グッとびくん・W」(白円内)のイメージ

問題は、長期間検針をしない、水道に異常があってもわからないことだ。例えば漏水があっても漏水メーターのデータが送信され、自動検針が実現する。万が一、漏水などが

2100世帯に導入すると、北海道、東北、北陸のような豪雪地帯を皮切りに、いずれは全国的に水道DXを進めていきたい。(和田氏)

グループは交付金申請支援などのサポート体制が充実している。実際、複数の自治体さまがデジタル由緒都市交付金の申請を支援している。こうした部分も強みとしてアピールしていきたい」と話す。

「北海道の中富野、TNT西日本、NTT北、町さきは、全世帯約25万戸のソリューション。この点について和田氏は「NTT東日本」

水道DX市場を開拓、遠隔検針を推進

「北海道の中富野、TNT西日本、NTT北、町さきは、全世帯約25万戸のソリューション。この点について和田氏は「NTT東日本」

「北海道の中富野、TNT西日本、NTT北、町さきは、全世帯約25万戸のソリューション。この点について和田氏は「NTT東日本」

「北海道の中富野、TNT西日本、NTT北、町さきは、全世帯約25万戸のソリューション。この点について和田氏は「NTT東日本」

「北海道の中富野、TNT西日本、NTT北、町さきは、全世帯約25万戸のソリューション。この点について和田氏は「NTT東日本」

「北海道の中富野、TNT西日本、NTT北、町さきは、全世帯約25万戸のソリューション。この点について和田氏は「NTT東日本」

提供イメージ

検針サービスの主なメニュー

定期検針 毎月1回の検針サービスです。1ヶ月間の検針データを提供します。	臨時検針 イベントや工事などの検針サービスです。検針日時を指定して検針を行います。
漏水監視 検針データから漏水を検知し、検知した漏水の位置や水量を通知します。	逆流検出 メーターの検針データから逆流を検知します。
最大流量 検針データから最大流量を検知し、検知した最大流量を通知します。	ローターバイ 検針データからローターバイを検知し、検知したローターバイの位置を通知します。

導入時のポイント

- 検針業務の自動化・省力化を実現するためのシステム
- デジタル由緒都市交付金申請支援